

2016年5月16日



株式会社クレディセゾン
株式会社デジタルガレージ

クレディセゾンとデジタルガレージが 共同で「セゾン DMP」を構築 ～カード会員向けマーケティング領域で協業～

株式会社クレディセゾン（本社：東京都豊島区、代表取締役社長：林野宏 以下、クレディセゾン）と株式会社デジタルガレージ（本社：東京都渋谷区、代表取締役グループ CEO：林郁 以下、デジタルガレージ）は、クレディセゾンが保有するデータを活用する「プライベート DMP（Data Management Platform）」（以下、セゾン DMP）[※] を共同構築いたしました。

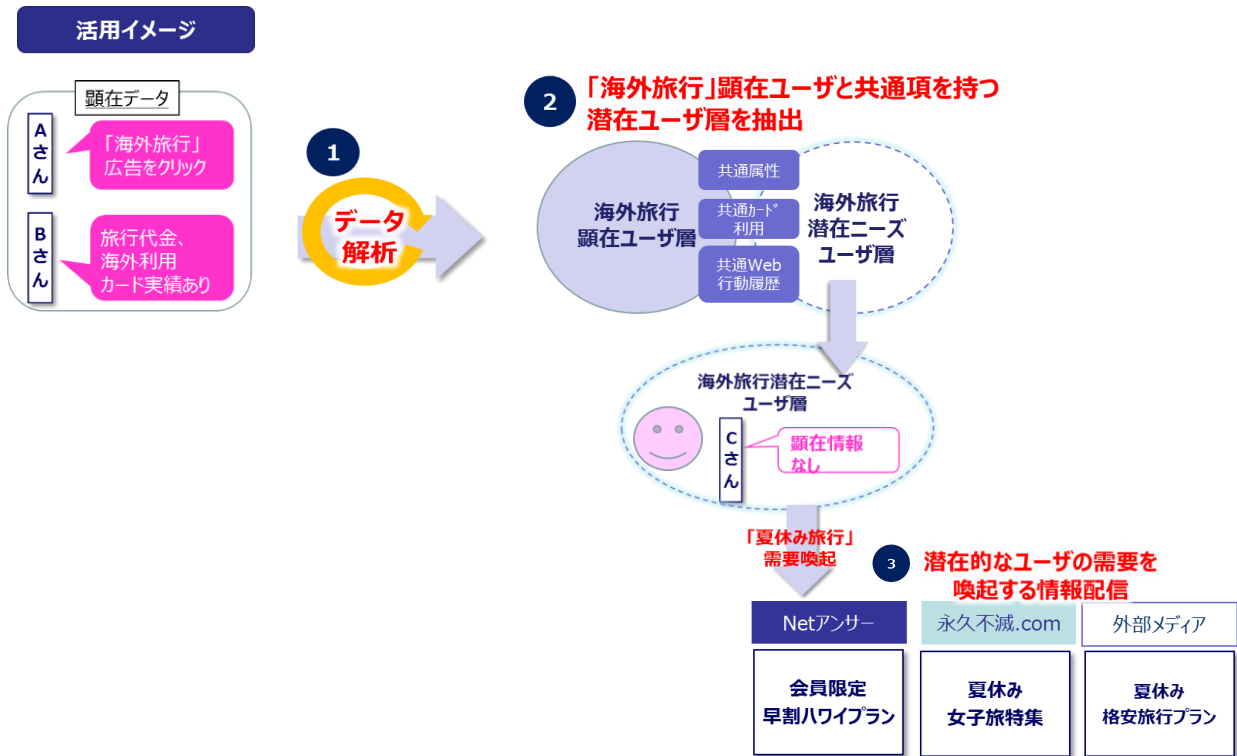
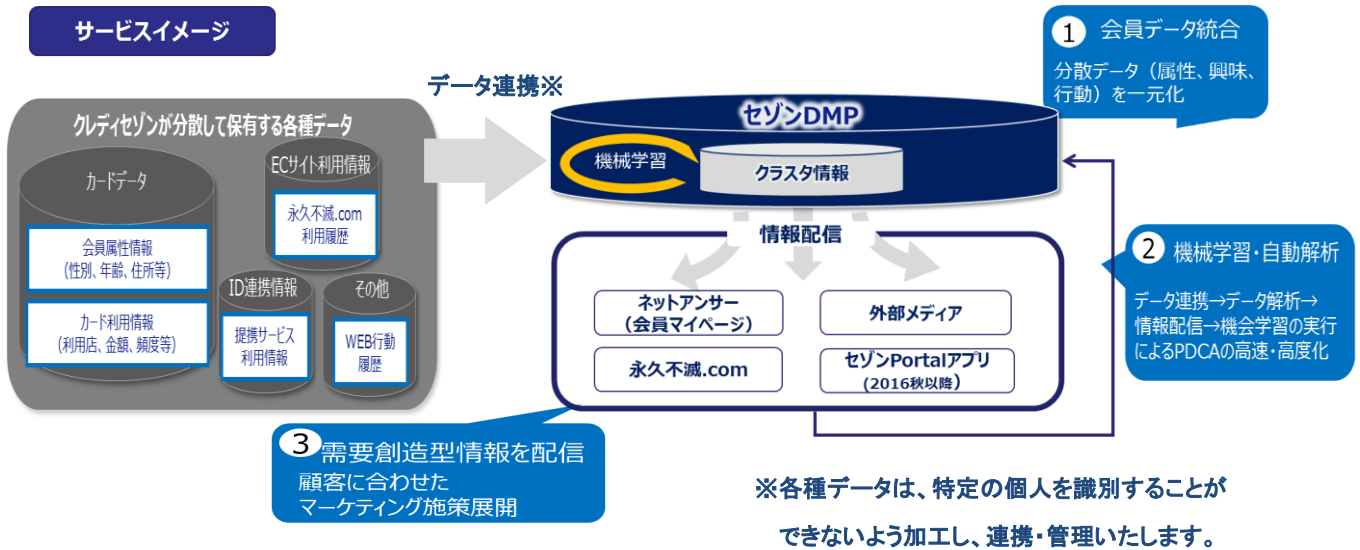
クレディセゾンは、これまで分散されていたカード会員の属性データやカード利用情報、ネットサービス利用データ等の各種データを特定の個人を識別できないデータ処理を行いセゾン DMP に統合したうえで、デジタルガレージの機械学習等のデータ解析技術により行動データの相関性やカード会員の類似性を解析し、パーソナライズされた最適な情報配信を行います。これにより、従来の画一的な情報配信ではなく、パーソナライズされたタイムリーな情報配信を実現し、1,200 万人を超えるクレディセゾンのネット会員の快適なショッピングをサポートします。

さらに、類似の特徴をもつ会員に対してもニーズを喚起するタイムリーな情報を提供することで新たな需要につなげるとともに、法人顧客に対してもビッグデータを活用した集客施策をはじめ、リサーチ、販売促進支援などマーケティングソリューションの提供にも取り組んでいきます。

近年、政府・経済産業省では、キャッシュレス決済に伴い得られるビッグデータの活用に向けて検討・協議をするため、「クレジットカード産業とビッグデータに関するスタディグループ」を設置し、環境整備の具体的方策について検討を行ってきました。

官民共同でキャッシュレス決済が推進される中、クレジットカードデータ活用の具体的な取り組み事例として、クレディセゾンがもつ業界最大規模の顧客基盤や決済ノウハウを活かした本サービスを開発・推進することで、新たなビッグデータビジネスモデルの創出を通じた日本の消費活性へとつなげていきます。

※「セゾン DMP」はデジタルガレージグループでデータサイエンス事業を手掛ける株式会社 BI・Garage（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：林郁）とデジタルガレージが共同開発した DMP サービス「BIG MINING Private」をクレディセゾン会員向けにカスタマイズしたものです。



■プライベート DMP サービス (Data Management Platform)

企業が保有する顧客データ、マーケティングデータ等、さまざまなデータを統合的に管理し、最新のデータ分析技術を活用した情報配信を行うことでデジタルマーケティング活動全体を最適化するプラットフォームのこと。